

非人間的な現代のコミュニケーションについての調査研究第2回研究会

『新世紀ゾンビ論』と『ゾンビ学』を読む

—藤田直哉氏、岡本健氏との対話



新世紀ゾンビ論

attack on fast zombies

日時:

2017年6月17日(土)
14時~

場所:

同志社女子大学
今出川キャンパス
純正館 401教室

登壇者:

藤田 直哉
岡本 健
福田 安佐子
松谷 容作(司会)



参加無料!

申込不要!

ゾンビ学

Zombie ★ Studies



藤田 直哉(ふじた・なおや):

1983年生まれ。SF・文芸評論家。東京工業大学社会理工学研究科価値システム専攻修了。博士(学術)。単著に『新世紀ゾンビ論』(筑摩書房)、『虚構内存在:筒井康隆とく新しい《生》の次元>』、『シン・ゴジラ論』(いずれも作品社)、共著に『3・11の未来:日本・SF・創造力』(作品社)、『東日本大震災後文学論』『21世紀探偵小説:ポスト新本格と論理の崩壊』『ポストヒューマニティーズ伊藤計劃以後のSF』(いずれも南雲堂)、『文化亡国論』(笠井潔との対談、響文社)、『地域アート美学/制度/日本』(堀之内出版)など。

岡本 健(おかもと・たけし):

1983年生まれ。研究者。北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻修了。博士(観光学)。現在、奈良県立大学地域創造学部准教授。著書に『ゾンビ学』(人文書院)、『n次創作観光』(北海道冒険芸術出版)、『マンガ・アニメで人気の「聖地」をめぐる神社巡礼』(エクスナレッジ、監修)、『コンテンツツーリズム研究』(福村出版、編著)、『メディア・コンテンツ論』(ナカニシヤ出版、共編著)、『マンガ研究13講』(水声社、分担執筆)、『マンガ・アニメで論文・レポートを書く』(ミネルヴァ書房、分担執筆)など。

福田 安佐子(ふくだ・あさこ):

現在、京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程在籍。ゾンビ映画を植民地主義やポストヒューマニズムとの関連から研究している。論文に「ゾンビ映画史再考」(『人間・環境学』、2017年)や「ゾンビはいかに眼差すか」(『ディアファネース-芸術と思想 第四号』、2017年)などがある。

松谷 容作(まつたに・ようさく):

神戸大学大学院文化科学研究科社会文化専攻修了。博士(文学)。現在、同志社女子大学学芸学部情報メディア学科助教。